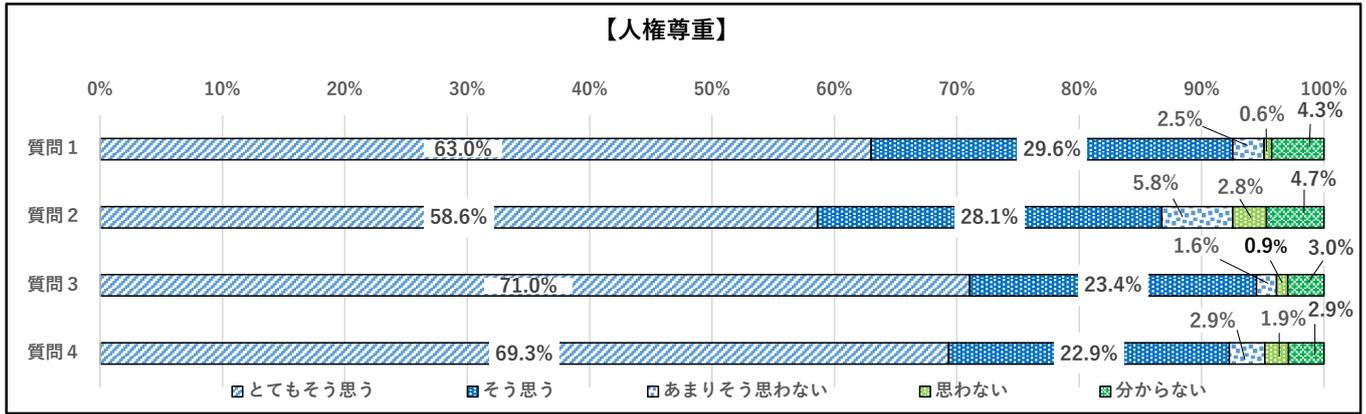
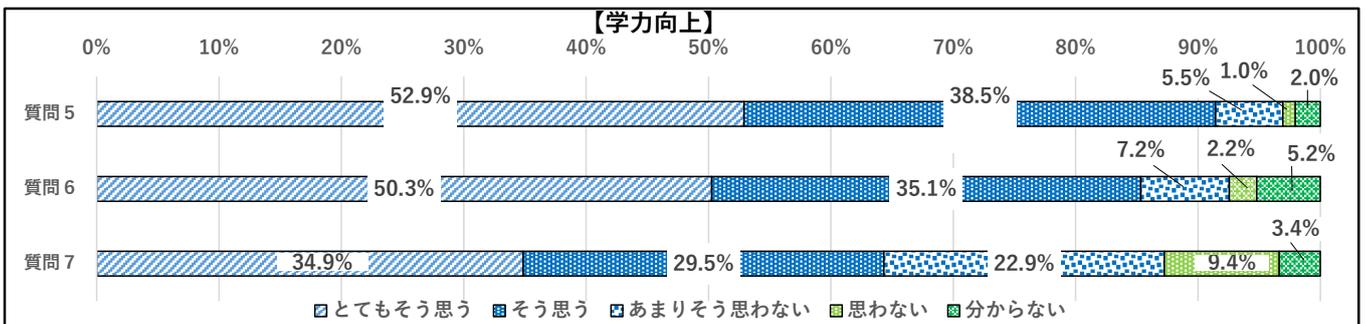


令和6年度 学校評価児童アンケート結果

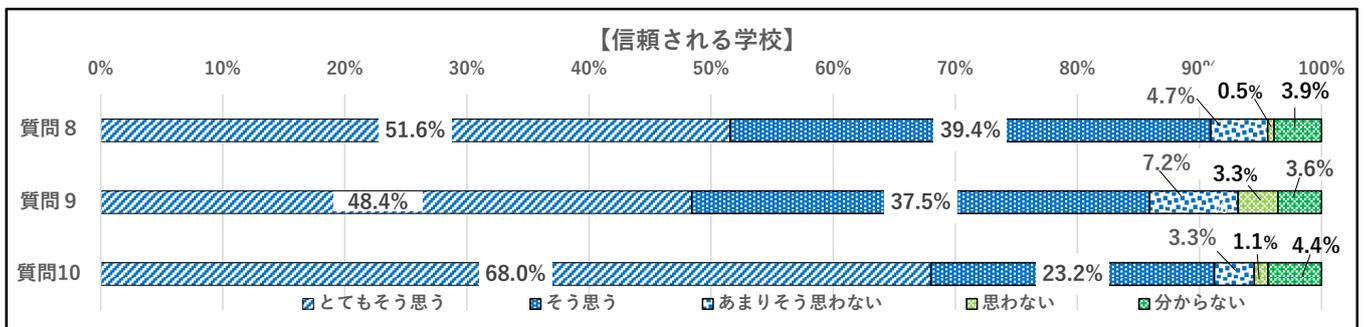
児童アンケートは、保護者アンケートと同じ内容の10項目で行いました。それぞれのアンケート項目の文章は児童に分かりやすい言葉で表現しています。



- 【設問1】** 92.6%の児童が肯定的な回答をしました。本校では、全教育活動を通して、人権尊重の大切さや理解を図り、自分や友達の良さを認め、友達を思いやる活動などの様々な取り組みを行ってきました。これからも全教育活動を通して、児童が健康で心豊かに学校生活を送れるよう努めてまいります。
- 【設問2】** 86.7%の児童が肯定的な回答をしました。年3回のいじめアンケートだけではなく、日常的にいじめは起こりうるとの認識で、これからも教員が児童の日々の様子を見守ります。「いじめ」「差別」は人権侵害であり、ゆるされないということを指導してまいります。
- 【設問3】** 94.4%の児童が肯定的な回答をしました。否定的な回答も2.5%と低くなっています。引き続き、道徳の学習や日々の活動を充実させてまいります。
- 【設問4】** 92.2%の児童が肯定的な回答をしました。児童は、先生方が一人一人を大切に指導をしていると感じているようです。今後も一人一人の個に応じた指導ができるよう、研修の機会を設けたり、児童の様子について職員全体で共有し、指導にあたるよう努めてまいります。



- 【設問5】** 多くの児童が授業を理解していると感じていることがわかります。一方で「あまり思わない」「思わない」と回答した児童も少数おられます。今後も朝学習の時間に、漢字練習や言語活動に取り組み、基礎基本の充実を図ってまいります。また、教員同士が互いの授業を見合ったり、研修会に参加したりする中で、指導力の向上に努め、誰でも分かる、楽しい授業を工夫してまいります。
- 【設問6】** 多くの児童が先生のICTを活用した授業を分かりやすいと感じています。管理職や市教委の授業観察、研究授業、公開授業などで、ICTを活用した活動を取り入れ、授業改善に努めています。また、月に数回訪問するICT支援員による操作のサポートや、活用事例の情報を発信することで、より充実した活用を目指します。
- 【設問7】** 約3分の1の児童が学校でよく本を読んでいると回答していますが、3分の1の児童が、あまり本を読んでいると感じています。年2回の読書旬間中に読書タイムを設けたり、図書館司書と連携しながら、読書活動を盛り上げてきました。今後は、読書タイムだけではなく、読み聞かせタイムも設けて、読書活動を充実させてまいります。



- 【設問8】** 約9割の児童が体験的な活動を行っていると感じていることから、学校での体験活動が広く認められていると受け止めております。落合川での川遊び、釣り体験や清掃活動など自然豊かな環境を活用した体験や大型施設や地域の農家見学など、地域のよさを味わう活動を多く取り入れることができました。今後も地域と連携した体験的な活動を充実させてまいります。
- 【設問9】** 86.3%の児童が、学校の中では、けががないよう安全に行動できていると感じています。大規模校でありながら、このような結果になったのは、児童一人一人がルールやマナーを守って活動できているからだと思えます。月に一度の安全指導や避難訓練、年に一度のセーフティー教室などを確実に実施し、安全教育を推進してまいります。
- 【設問10】** 約9割の児童が先生たちの努力を感じていることから、学習や学校行事の改善に対する本校教員の意識が高いことを示していると受け止めております。様々な教員研修や実践、体験を通して教員の資質・向上に努め、児童たちが、楽しく学校生活を送れるよう努めてまいります。